

法学既修者選抜試験・刑事法問題

I 次の事項について、それぞれ 200 字から 400 字の範囲内で説明しなさい。

- (1) 違法性阻却事由の錯誤
- (2) 公共の危険

II 次の事例について、甲の罪責を論じなさい（特別法違反の点は除く）。

Xの唯一の法定相続人である甲は、不動産、預金、金品を含むXの全財産を手に入れるため、Xを自動車で山中に連れて行って射殺する計画を立てた。平成20年12月14日朝、甲は拳銃を用意した上、自動車でXの家へ赴き、荷物を持って来たので家の中に運ぶのを手伝って欲しいと言ってXを呼び出した。そして、トランクの中を覗き込んだXの後頭部を銃で強打して意識を失わせ、意識を回復しても声を出さないように手拭いできんぐつわ猿轡をかませた上でトランクに閉じ込めると蓋を閉め、約5キロ離れた山中に向かって出発した。約10分後、車が殺害予定現場に到着し、甲がトランクの蓋を開けたところ、Xは手拭いで口と鼻を覆われたことによって窒息し、既に死亡していた。